

CYS school 中山教室  
令和3年度 事業所自己評価結果の公表

公表: 令和4年3月31日  
アンケート期間: 令和4年 2月 22日 ~ 令和4年 3月 7日

保護者等からの事業所評価の集計結果

保護者等数(児童数)8名

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースは十分に確保されていますか。	7	1		
	2 職員の配置数や専門性は適切ですか。	8			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっていますか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていますか。	7			1
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、子どもの活動に合わせた空間となっていますか。	7			1

事業所における自己評価結果および改善内容・改善目標

回答職員数 7名

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			棚の上などつい物を置いてしまう。また机やカゴの中の整理整頓ができていないため綺麗でない。退勤前に綺麗にするなど常に整理整頓を心がけていきたい。 掃除をする際、棚上やパーテーションなどに破損がないか確認している。 玩具や支援に必要なタイマーなどの置き場を定め、スタッフ全員がすぐに見つけられるよう工夫し整理する。 細かい部分の修繕、点検の必要性は感じています。もう少し整理整頓し、物を探す時間を縮小したいです。
	2 職員の配置数は適切である	7			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2	刺激の少ない仕切りになっていると思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	2		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2		毎日の療育の振り返りをきちんと行っている。 HUGシステムでいつでも共有できるようになった点。 非常勤の先生方の記録を書く時間や情報共有(振り返りなど)をする時間が少ないように感じる。 常勤の先生とパートの話し合いの場がもう少しあると良いと思う。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2		

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていますか。	8			
	6 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていますか。	8			
	7 個別支援計画に沿った支援が行われていますか。	8			
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されていますか。	8			
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がありますか。	1		3	4

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	7			必要に応じて子どもごとの視覚提示を作成している。 発達や様子を見ながら主活動の内容やグルーピングを考えている。 活動や自由遊び、個別課題などパターン化しがちで新しいものを考える力が足りない。 自分がまだ力不足のため、先生方が作ってくださる支援計画等について、会議等で話し合いはあるものの、もう少し時間があるとわからないことも見えてくると思う。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2		
	11 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	2		
	12 個別支援計画に沿った支援が行われている	7			
	13 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1		
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2		
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	6	1		
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3		
	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	19 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6	1		
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2		
	21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7			
	22 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2		
	23 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			
	24 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	5		
	25 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7			
	26 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している	7			
	27 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
	28 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	3	4		

チェック項目		はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか。	8			
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか。	7			1
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	8			
	13 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか。	8			
	14 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等、保護者同士の連携が支援されていますか。	1		4	3
	15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8			
	16 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか。	8			
	17 定期的におたよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果等を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8			
	18 個人情報の取り扱いに十分注意されていますか。	7	1		

チェック項目		はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない
非常時等の対応	19 防犯対策、感染症予防、非常災害時対応方法について、保護者に周知・説明されていますか。	8			
	20 新型コロナウイルス感染症対策は徹底されていましたか。また、緊急事態宣言発令時の対応について等、不安はありませんでしたか。	8			
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	8			

チェック項目		はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	1		
	23 事業所の支援に満足していますか。	8			

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明等	29 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			HUGのメールを利用することで、連絡を取り合いやすくなっている。保護者にも浸透していると感じる。  忘れ物がある際など、お迎え時にお伝えし忘れることがあるため気を付けていきたい。 重要なお知らせをHUGに掲載しているが、見ていない方もいる。周知しているが週一利用の方はHUGを毎日開いていないことで確認ができていない。
	30 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	7			
	31 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2		
	32 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2		
	33 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6		
	34 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		
	35 定期的におたよりやホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1		
	36 個人情報の取扱いに十分注意している	7			
	37 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1		
	38 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	39 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	2		緊急時の連絡先（救急車の番号など）や建物の住所や連絡先をまだ覚えていないため、紙に書いて常に携帯するようにしたい。 体調が急変した際や怪我をした際、素早く適切に対処できるよう対応方法を覚えていきたい。 利用児が怪我をした際の訓練が足りなかった。 防災マニュアル等、再度確認しておきたい。
	40 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		避難訓練の立案は月ごとに避難方法や対応などきちんと考えて実施し、反省もしている。	
	41 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、新しい生活様式に対応した活動内容・支援方法について日々工夫しながら取り組んでいる	6	1	浸水区域のためレインコートを着用しての訓練の他、地震火災防犯などさまざまな訓練を行っている。	
	42 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		月一度の避難訓練で、分からないことなどその都度話し合っていると。思う。	
	43 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
	44 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			
45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	5			

### 事業所における分析・協議・改善案の検討結果

事業所内での分析	
【保護者様評価・職員自己評価の共通点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども活動スペースは十分。</li> <li>個別支援に沿った支援が行われている。</li> <li>父母の会、保護者会が行われていない。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策</li> </ul>
【保護者様評価・職員自己評価の相違点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>棚上の整理整頓など配慮が足りない部分がある。</li> <li>保護者との連絡にて持参していただく物など伝えているが、HUGの周知不足もあり確認していただくまで時間がかかることがある。また、活動記録などでお知らせを掲載しているがこちらも確認していないケースがある。</li> <li>やや固定化されたプログラムもあるように感じている。繰り返しの活動の良い部分も取り入れつつ工夫が必要。</li> <li>非常時等の対応では子どもが怪我をした際の訓練足りなかった。マニュアルも作成していく必要がある。</li> </ul>

分析・検討してみても...	
事業所の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活空間はパーテーションなどを用い、刺激を減らしたり遊び込める環境を作っている。</li> <li>日々の療育の振り返りを行い、HUGシステムやLINEワークスで共有している。</li> <li>子どもの発達や様子に合わせて主活動の内容やグルーピングを工夫している。</li> </ul>
事業所の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者への連絡事項など周知が足りない部分が多いため、HUGを確認していただくことを周知していく。</li> <li>活動プログラムは固定化せず工夫して様々な活動を取り入れていく。</li> <li>新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら保育参加など取り入れ、日々の様子を見てもらったり保護者同士が関わる場を増やしていく。</li> <li>非常時対応で怪我や病気をした際、スタッフが迅速に対応できるようにする。</li> </ul>

事業所の改善への取り組み	
保護者へのHUGでの連絡について、メール受信設定ができていない等確認し、頻繁に見ていただけるよう周知の方法を考えていく。	
プログラムを工夫し、子どもがやりたいと思うような活動や様々な操作や動きの経験ができるよう支援していく。	
新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら、保育参加や保護者が参加できる行事を取り入れていく。	
非常時対応で、日頃の地震や火災に加え怪我や病気の際の対応マニュアルを作成し、訓練を多く取り入れていく。	